



農薬の選び方

農薬を正しく使うことで病気を予防し、植物を良好に育てることが出来ます。しかし、間違った農薬の使い方をしてしまうと、思わぬ効果が出ないことがあります。

今回は、病気の予防のために使用する「予防剤」と、病気を治療する効果がある「治療剤」をご紹介します。

予防剤

菌糸が侵入し発病する前に散布すると効果がある農薬です。カビ細菌などできるだけ多くの病原菌に効果のある農薬がおすすめです。

病名	薬剤名
うどんこ病	ダコニール1000
灰色カビ病	ダコニール1000
べと病	ジマンダイセン水和剤
さび病	ジマンダイセン水和剤
たんそ病	ダコニール1000



【ダコニール1000】



【ジマンダイセン水和剤】



治療剤

菌糸の侵入後に散布して効果がある農薬です。そのため特定の病原菌にシャープな効果がありますが、注意としては、必ず作物名に登録があるか、適用病名に登録があるか、使用時期・使用回数を確認してください。また、雨が降りそうな場合は農薬の散布をせずに雨がやんでからの散布をおすすめします。

プロポーズ顆粒水和剤は
予防効果も治療効果も
兼ね備えています

病名	薬剤名
うどんこ病	アミスターフロアブル20、プロポーズ顆粒水和剤
灰色カビ病	アミスターフロアブル20、プロポーズ顆粒水和剤
べと病	アミスターフロアブル20、プロポーズ顆粒水和剤
さび病	アミスターフロアブル20、プロポーズ顆粒水和剤
たんそ病	アミスターフロアブル20、トップジンM水和剤



【アミスターフロアブル20】



【トップジンM水和剤】



【プロポーズ顆粒水和剤】